

秋を彩るコスモス



コスモスは「風を見る花」と愛され、風車のように秋風に吹かれていっせいにそよぐ様は少女の可憐さ、やさしさを感じさせます。

実はこの花の故郷はメキシコです。コロンブスの新大陸発見後ヨーロッパに伝わった花の一つで、古くから日本でも親しまれています。


コスモスは本来短日植物なので秋にしか咲かなかったのですが、品種改良により早く咲くようにもなります。また、色とりどりの花色や花形などいろいろなタイプのものが現われました。しかし和名の「秋桜」のように「秋に咲く桜のように美しい」というようにやはり秋に咲くのが風情があります。

グリーンパークのコスモスはセンセーション系で、7月に種を播き、10月中旬頃見ごろを迎えます。

コスモスの花びらは8枚です。この花で恋占いをする時には偶数であるから、必ず「愛していない」から始めないといけません。是非おためしください。

今回号の話題
動物の名前の付いた植物


植物の名前の頭に動物の名前が付いているもの、いくつあげられますか。からす、すずめ、ひよどり、へび、ねずみ、いぬ、くま...もっと他にもあることでしょう。古来より人間と深いかわりのあった動物たちだと思います。その中のひとつに「キカラスウリ」というものがあります。生け垣や法面に緑色の卵のようなものがぶら下がっています。それがキカラスウリです。カラスウリが熟れると朱色になるのに対し、黄色になることから名前が付きましました。この根を粉にして白いでんぷんを天瓜粉(てんかふん)として利用しています。また夏にはレースのような花を咲かせます。



キカラスウリの花

ハーブを知る 第6回目


キヤットニップ
和名 イヌハッカ
シソ科




猫が嘔むという意味のキヤットニップ。猫が大好きな草でこの中で気持ちよさそうにごろごろします。花は薄紫や白色でとても美しく花壇でよく映えるのですが、猫に荒らされる可能性があります。また、薬用効果が高くビタミンCが豊富で、発汗作用もあるので風邪を引いた時には強い味方です。和名は何故かイヌハッカです。乾燥葉で猫のおもちゃを作ってみませんか。

イヌが付いた名前の木

イヌビワ クワ科
落葉低木 雌雄異株
イヌビワは、イチジクに近い種類で果実は黒紫色に熟すと食べられます。和名は果実がビワに似ているが劣るという意味です。(写真左)



イヌザンショウ ミカン科
落葉低木 雌雄異株
サンショウに似ているが葉、果実とも香りなどが劣ります。(写真右)



名前にイヌが付くと本来のものに似ているが劣る。犬には迷惑な話ですね。

植物漢字クイズ
~なんと読むのでしょうか~

今回のお題 **「薄」**

ヒント: 秋の七草のひとつ

